

IBM Security Guardium

データベースに対する「セキュリティ」「監査/レポート」のアプライアンスソリューション

このような悩みをお持ちではありませんか？

- ☑ 外部監査機関からの指摘に対応できる仕組みを構築したい！
- ☑ セキュリティ事故を未然に防ぎたい。検知したい！
- ☑ 導入済みの製品に機能面・性能面で不満があるので、別製品を検討したい！
- ☑ 手作業によって掛かるレポート作成や調査コストを削減したい！

Guardiumで解決

★Guardiumは、データ蓄積機能、アラート機能、レポート機能などが含まれたアプライアンス製品です。

ネットワーク アプライアンス +ソフトウェア ドライバー

- 最小限のインパクト（既存環境、データベースに負荷殆どなし）
- アラート & ブロッキング

セキュアで独立したプラットフォーム

- 完全にプロテクトされたアプライアンス
- 職務権限の分離

優れたレポート機能

- 70種類以上の標準レポートテンプレート
- ドリルダウンして詳細調査

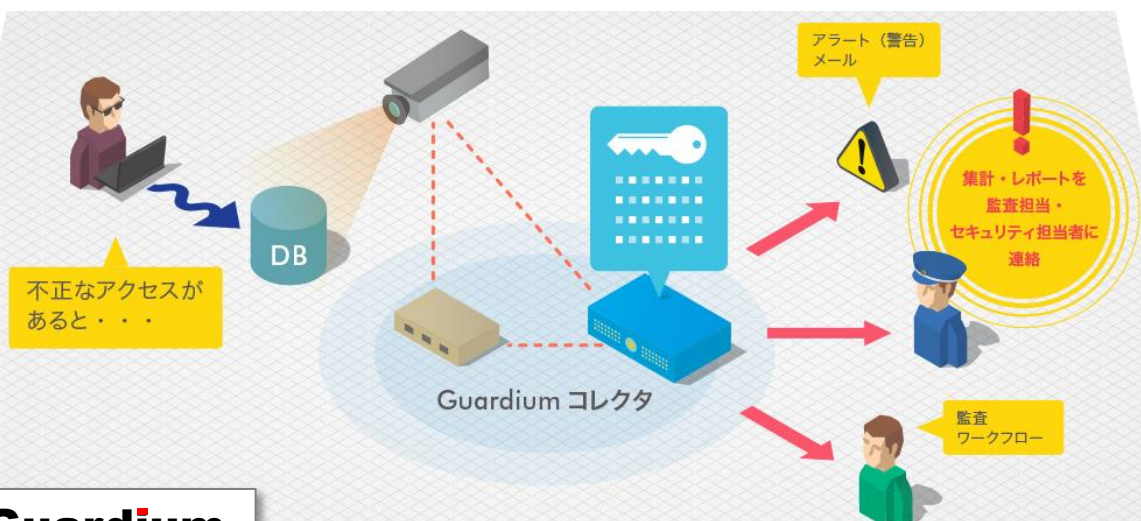
マルチプラットフォーム対応

- 多数のDBMSやOSをサポート
- パッケージアプリ、自社開発アプリにも対応

4つの基本機能

1. 「DBアクセスログの記録」
2. 「不正発生時のアラート」
3. 「蓄積ログのレポート」
4. 「監査ワークフロー」

Guardiumは、独立したプラットフォームですべての機能を実現いたします。



Guardium

Guardiumの構成

構成例

IBM i 6.1, 7.1, 7.2, 7.3をサポート!!



Database Servers



PureData

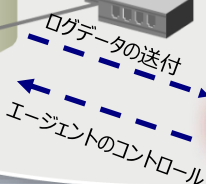


Application Servers



Custom application

Guardium



セキュリティ・監査のビジネス要件に対するGuardiumでのソリューション

実現への課題

Guardiumソリューション

増大する複雑性の管理

- 自動化、一元化管理
- 分散環境、あらゆるOS、データベースのサポート

システム、データに対するユーザアクセスの管理

- 粒度の細かいアクセス管理
- 特権ユーザの管理
- アプリケーションユーザのモニタリング (詐欺)
- 権限レポート

内部犯行による漏洩の防止

- データレベルのアクセス管理
- クエリの実行結果もモニタリング

セキュリティポリシーの確実な実施

- リアルタイムアラート及びモニタリング
- アクセスポリシーが細かく設定可能 (OS ユーザ, IP, アプリ, テーブルなど)
- 設定のロック (変更できないようにする)
- DBMS、OSの違いを超えて一元化されたポリシー管理

外部犯行による漏洩の防止

- 全DBアクセスのリアルタイムモニタリング
- ベースラインの作成機能
- DBMSの種類に依存しない脆弱性診断
- DBMS特有の解析
- データディスカバリ及び分類

コンプライアンス要件の達成

- 自動化、管理ポリシーの一元化
- 設定済みのベストプラクティスレポート
 - SOX, PCI, NIST 800-53, データプライバシー
- ワークフロー: サインオフ・エスカレーション・インシデント管理自動化
- すべての監査証憑はDBMS非依存で安全なアプライアンスで保存

業務への負荷の低減

- エージェント型で最小限のパフォーマンスインパクト



日本情報通信株式会社

TEL(03)6278-1111(代)
 〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号
 聖路加タワー15階
<http://www.niandc.co.jp>
 ©Nippon Information and Communication

●お問い合わせ・ご用命は・・・
 ソリューションビジネス本部
 Guardium担当
 e-mail : NIC_Contact@NIandC.co.jp

(2016.03)